

教育委員会事務の点検及び評価報告書

- 平成24年度分 -



平成25年9月
つがる市教育委員会

報告書目次

教育委員会基本方針	1
教育委員会委員構成	1
つがる市教育委員会機構図	2
平成24年度つがる市教育委員会審議状況	3
平成24年度教育委員会議以外の活動報告	7
教育委員会事務の点検及び評価について	8
予算・決算の概要	9
施策分野別の総合点検・評価（各課の点検・評価書）	
1．教育委員会組織	9
2．学校教育指導関係	
教育総務課	9
指導課	11
3．社会教育行政関係	
生涯学習課	12
4．文化財保護行政関係	
文化課	14
施策別重点項目事務事業一覧	15
平成24年度教育委員会事務事業点検・評価表	17

教育委員会基本方針

つがる市教育委員会では、新市施策の基本目標の一つである「個性と郷土を大切にする心豊かな人づくり」の具現化を目指し、青森県教育委員会の教育目標やつがる市の生涯学習推進計画などの趣旨を踏まえ、すべての市民が生涯を通じて様々な学習活動に参加できる、生涯学習社会の実現に向けて、教育目標を設定しています。

さらに、教育目標を達成するための３項目の具体的方針を定め、当面の教育課題や今後の方向を明らかにします。

１ 生きる力と夢をはぐくむ教育の推進

２ 生涯学習とスポーツの振興

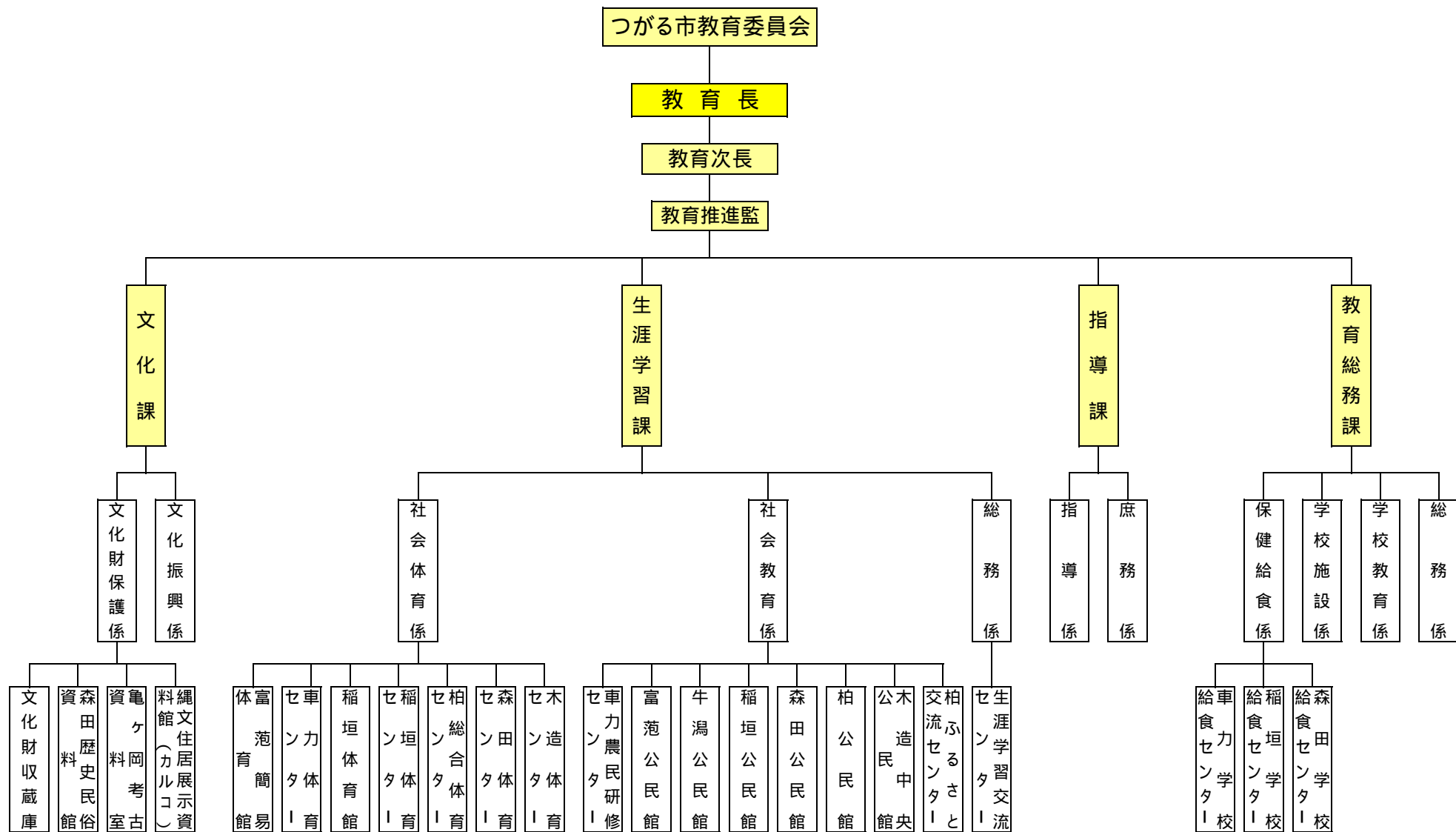
３ 文化の薫り高いまちづくり

教育委員会委員構成

（平成２４年４月現在）

区 分	氏 名	任 期
委 員 長	長谷川 良 幸	平成２１年３月３１日 ～ 平成２５年３月３０日
委 員 (職務代理者)	成 田 悦 雄	平成２４年３月３１日 ～ 平成２８年３月３０日
委 員	黒 滝 亨	平成２３年３月３１日 ～ 平成２７年３月３０日
委 員	神 元 勝	平成２２年３月３１日 ～ 平成２６年３月３０日
委 員	鳳 至 英 俊	平成２３年３月３１日 ～ 平成２７年３月３０日
教 育 長	葛 西 嶺 輔	平成２１年３月３１日 ～ 平成２５年３月３０日

つがる市教育委員会機構図



平成 2 4 年度つがる市教育委員会審議状況

会 議	開催日時	開催場所	付 議 事 項		
4 月臨時会	4 月 2 日 (月) 1 3 : 3 0 ~	松の館 研修室	組 織 会	つがる市教育委員会委員長の選任	
			議案第 2 1 号	つがる市教育委員会委員長職務代理者の選任について	
4 月定例会	4 月 2 5 日 (水) 1 3 : 3 0 ~	松の館 研修室	報 告	教育長報告	各種会議・行事等の概要
			そ の 他	平成 2 4 年度「 4 課の課題」と取り組み	
5 月定例会	5 月 2 8 日 (月) 1 3 : 3 0 ~	松の館 研修室	報 告	教育長報告	各種会議・行事等の概要
			議案第 2 2 号	つがる市学校その他の教育機関の長に対する事務委任規程案	
			議案第 2 3 号	つがる市幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する告示案	
			議案第 2 4 号	平成 2 4 年度つがる市一般会計補正予算(第 1 号)のうち教育委員会関係予算について	
			議案第 2 5 号	つがる市立学校給食運営審議会委員の委嘱について	
			議案第 2 6 号	つがる市社会教育委員の委嘱について	
			議案第 2 7 号	つがる市スポーツ推進審議会委員の委嘱について	
6 月定例会	6 月 2 9 日 (金) 1 3 : 3 0 ~	松の館 研修室	報 告	教育長報告	各種会議・行事等の概要
			議案第 2 8 号	つがる市教育委員会事務の点検及び評価アドバイザーの委嘱について	
			協 議	つがる市小・中学校規模適正化基本計画(案)について 平成 2 4 年度教育委員学校訪問実施要項(案)について	
7 月定例会	7 月 3 0 日 (月) 1 3 : 3 0 ~	松の館 研修室	報 告	教育長報告	各種会議・行事等の概要
			議案第 2 9 号	つがる市小・中学校規模適正化基本計画について	
			協 議	平成 2 3 年度教育委員会事務の点検及び評価報告書について 平成 2 4 年度教育委員学校訪問実施要項(案)について(継続)	
			そ の 他	学校再編地区説明会について	
8 月定例会	8 月 2 3 日 (木) 1 3 : 3 0 ~	松の館 研修室	報 告	教育長報告	各種会議・行事等の概要
			議案第 3 0 号	平成 2 3 年度教育委員会事務の点検及び評価報告書について	
			議案第 3 1 号	平成 2 4 年度つがる市一般会計補正予算(第 3 号)のうち教育委員会関係予算について	
			議案第 3 2 号	教職員の降任希望について(非公開)	

会 議	開催日時	開催場所	付 議 事 項		
8月臨時会	8月31日(金)	持ち回り 審 議	議案第33号	つがる市立小学校教職員の人事について(非公開)	
9月定例会	9月25日(火) 13:30~	松の館 研修室	報 告	教育長報告	各種会議・行事等の概要
				各 課 報 告	平成24年度教育委員学校訪問スケジュール
					学区再編説明会の状況について
10月定例会	10月25日(木) 13:30~	松の館 A会議室	報 告	教育長報告	各種会議・行事等の概要
				各 課 報 告	平成24年度前期事業報告
			議案第34号	つがる市スポーツ賞に関する規則の一部を改正する規則案	
			議案第35号	つがる市スポーツ賞に関する規則の運用要綱の一部を改正する訓令案	
			議案第36号	つがる市牛潟公民館、つがる市車力体育センター及びつがる市立車力柔剣道場の指定管理者制度導入について	
			議案第37号	つがる市森田総合運動場及びつがる市稲垣総合運動場の移管について	
			議案第38号	県費負担教職員の懲戒について(非公開)	
			そ の 他	つがる市小学校規模適正化基本計画に関するアンケート集計結果について	
11月定例会	11月29日(木) 13:30~	松の館 研修室	報 告	教育長報告	各種会議・行事等の概要
			議案第39号	つがる市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則案	
			議案第40号	つがる市文化賞選考審議会委員の委嘱について	
			議案第41号	つがる市縄文遺跡整備構想について	
			議案第42号	平成24年度つがる市一般会計補正予算(第5号)のうち教育委員会関係予算について	
12月定例会	12月26日(水) 13:30~	松の館 研修室	報 告	教育長報告	各種会議・行事等の概要
				各 課 報 告	平成25年度予算要求の概要
			議案第43号	つがる市稲垣体育館及びつがる市稲垣体育センターの指定管理者制度導入について	

会 議	開催日時	開催場所	付 議 事 項		
1月定例会	1月23日(水) 13:30~	松の館 研修室	報 告	教育長報告	各種会議・行事等の概要
				教育委員会学校訪問について(総括)	
			議案第1号	平成24年度つがる市文化賞受賞者の決定について	
			議案第2号	平成24年度つがる市スポーツ賞受賞者の決定について	
			議案第3号	つがる市運動施設条例の一部を改正する条例案	
			議案第4号	つがる市牛湍公民館、つがる市車力体育センター及びつがる市立車力柔剣道場の指定管理者候補団体の決定について	
			議案第5号	つがる市稲垣体育館及びつがる市稲垣体育センターの指定管理者候補団体の決定について	
			議案第6号	平成25年度学校教育指導の方針と重点の承認について	
			議案第7号	つがる市小学校規模適正化実施計画について	
			協 議	平成25年度つがる市教育委員会の教育方針について	
2月定例会	2月21日(木) 13:30~	松の館 研修室	報 告	教育長報告	各種会議・行事等の概要
				各課報告	平成24年度事業総括
				平成24年度学校評価のまとめ(確かな学力)	
			議案第8号	つがる市教育委員会事務局規則の一部を改正する規則案	
			議案第9号	つがる市教育委員会教育長職務代理者の指定に関する規則の一部を改正する規則案	
			議案第10号	つがる市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部を改正する規則案	
			議案第11号	つがる市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令案	
			議案第12号	平成24年度つがる市一般会計補正予算(第7号)のうち教育委員会関係予算について	
			議案第13号	平成25年度つがる市一般会計予算のうち教育委員会関係予算について	
			議案第14号	平成25年度つがる市立小・中学校教職員の人事について(非公開)	
			議案第15号	平成25年度つがる市教育委員会の教育方針について	
			協 議	「つがる市の教育(平成25年度版)」について	

会 議	開催日時	開催場所	付 議 事 項		
3月定例会	3月25日(月) 13:30～	松の館 研修室	報 告	教育長報告	各種会議・行事等の概要
				県費負担教職員の人事について	
			議案第16号	つがる市職務に専念する義務の特例に関する規則の一部を改正する規則案	
			議案第17号	つがる市公民館条例施行規則の一部を改正する規則案	
			議案第18号	つがる市運動施設条例施行規則の一部を改正する規則案	
			議案第19号	つがる市文化賞に関する規則の一部を改正する規則案	
			議案第20号	つがる市学校教育活動支援員設置要綱の一部を改正する訓令案	
			議案第21号	つがる市遺跡整備計画策定委員会設置要綱の一部を改正する訓令案	
			議案第22号	つがる市縄文遺跡整備検討有識者会議設置要綱案	
			議案第23号	つがる市立小中学校学校評議員取扱要綱案	
			議案第24号	稲垣地区小・中学校給食費の改定について	
			議案第25号	つがる市教育相談員及び特別支援教育相談員の委嘱について	
			議案第26号	つがる市小学校外国語活動講師の委嘱について	
			議案第27号	つがる市社会教育委員の委嘱について	
			議案第28号	つがる市スポーツ推進委員の委嘱について	
			議案第29号	つがる市スポーツ推進審議会委員の委嘱について	
			議案第30号	つがる市文化財審議会委員の委嘱について	
			議案第31号	つがる市学校教育活動支援員の任用について	
			議案第32号	つがる市小学校規模適正化実施計画の一部変更について	
			議案第33号	「つがる市の教育（平成25年度）」について	
			議案第34号	平成25年度つがる市教育委員会職員の人事異動について	
3月臨時会	3月31日(日) 10:00～	松の館 研修室	組 織 会	つがる市教育委員会委員長の選任	
			議案第35号	つがる市教育委員会委員長職務代理者の選任について	
			議案第36号	つがる市教育委員会教育長の選任について	

平成24年度教育委員会議以外の活動報告

(1) 学校訪問

小学校11校、中学校5校、公立幼稚園1園の学校訪問を実施しました。

訪 問 日	訪 問 校
9月28日(金)	車力幼稚園、森田小学校
10月 1日(月)	柏 小 学 校、森田中学校
10月 2日(火)	穂波小学校、車力小学校
10月10日(水)	牛潟小学校、稲垣中学校
10月11日(木)	稲垣小学校、稲垣西小学校
10月18日(木)	木造中学校、瑞穂小学校
10月19日(金)	育成小学校
10月22日(月)	柏 中 学 校
11月 6日(火)	富范小学校、車力中学校
11月12日(月)	向陽小学校

(2) 会議、研修会

教育委員を対象とした下記の会議・講演会及び研修会に参加しました。

開 催 日	会 議・研 修 名	出張先	出席者
4月26日(木)	西つがる教育委員会連絡協議会総会	つがる市	6人
5月25日(金)	県市町村教育委員会委員総会・研修会	青 森 市	5人
7月11日～12日	つがる市教育委員研修会	秋 田 県	5人
7月25日(水)	つがる市教育研究会・講演会	つがる市	4人
10月24日(水)	西つがる教育委員会連絡協議会研修会	深 浦 町	5人

(3) 各種行事・大会等

その他、下記の各種行事・大会に参加しました。

開催月	行 事・大 会 名	開催月	行 事・大 会 名
4月	3日：つがる市教職員合同着任式	11月	4日：向陽小学校創立140周年記念式典
6月	26日：向陽小学校改築落成記念式典		9日：県中学校総合文化祭 西つ・北五大会
8月	15日：つがる市成人式	2月	10日：つがる市文化賞・スポーツ賞授与式
10月	30日：西北へき地・複式教育研究大会		15日：西つがるの教育を語る会
11月	1日：つがる市表彰式	3月	1日：木造高校卒業式
	3日：つがる市総合文化祭		8日～：市内小・中学校卒業式

教育委員会事務の点検及び評価について

1) 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定に基づき、教育委員会は毎年、その権限に属する主要な施策や事務事業の取組み状況について、効果・必要性・効率性等を自ら点検評価を行い、今後の取組の方向性や課題を明らかにすることにより、効果的な教育行政の推進を図っていきます。

また、結果に関する報告書を作成し、市議会へ提出するとともに市民にも公表することにより、説明責任を果たし信頼される教育行政を推進することを目的としています。

2) 点検・評価の対象

点検・評価の実施にあたっては、平成24年度における教育委員会の活動や運営状況及び重点事業並びに主な事務事業を対象として実施しました。

- ・ 施策分野 …… 4 分野（教育委員会、学校教育、社会教育、文化財保護）
- ・ 重点項目 …… 17 項目
- ・ 主要事務事業 …… 72 項目（各担当課が扱う主要な事業を選定し点検評価）

3) 点検・評価の構成

施策別重点項目一覧に基づく主要事務事業について、各担当者が一次評価を実施し担当課長が総合的な評価を行い教育長に提出する。

教育長は、「事務の点検・評価アドバイザー」を委嘱し、点検・評価の実施方法及び内容等について意見を求めるとともに、点検・評価の結果に関する報告書（案）を作成し、教育委員会で審議し議決を求める。

《平成24年度教育委員会事務事業点検・評価表シート》

有効性 …… 事業の成果を、「未達成」、「期待以下」、「ほぼ達成」、「期待どおり」、「期待以上」の5区分で捉え評価する。

必要性 …… 事業の必要性がどの程度あるか、「低い」、「やや低い」、「普通」、「やや高い」、「高い」の5区分で評価する。

方向性 …… 事業の今後の見通しを、「廃止・休止」、「縮小」、「整理統合」、「継続」、「拡大」の5区分により判断する。

4) 点検・評価の経緯

ア) 平成25年6月教育委員会

平成24年度事務点検及び評価についてのスケジュール案を報告承認

イ) 「事務の点検・評価アドバイザー」として3名を委嘱（7/1付）

（三浦 則孝氏、福土 有一氏、中野 智氏）

ウ) アドバイザー会議開催（7/16、8/8）

点検項目、評価表、報告書（案）等について意見聴取

エ) 平成25年7月、8月教育委員会

事務の点検及び評価報告書（案）について協議、審議のうえ議決

予算・決算の概要

平成24年度における教育費の当初予算は、19億2,381万4千円でしたが、補正等で1億8,167万9千円を増額し、合計21億549万3千円となりました。これは、前年度に比べると33.7%の減となっています。

一般会計歳出予算のうち、教育費の占める割合は8.8%となっており、教育予算全体では減少した形となっています。

主な要因としては、学校建設事業として進めてまいりました向陽小学校改築事業で、本体校舎が23年度に完成したことで、事業費が大幅に減少したことがあげられますが、引き続き国の交付金等を活用して、学校の校舎、体育館などの施設改修や、パソコン等情報教育設備、体育備品や学校図書備品、スクールサポーターの充実に努めた予算となっております。

歳出決算額は19億2,129万円強で、予算に対する執行率は91.3%となっています。

ただし、1億5,314万2千円が翌年度へ繰越しされ、平成25年度において執行される結果となりました。

施策分野別の総合点検・評価（各課の点検・評価書）

1. 教育委員会組織

教育委員会の会議は、定例会12回、臨時会3回を開催し、上程議案59件、報告20件、その他3件について審議し、いずれも可決・承認されました。

（資料…平成24年度つがる市教育委員会審議状況）

会議以外の活動状況は、管内小学校・中学校及び車力幼稚園を訪問し、教育方針と重点項目がどのように浸透し、取り組んでいるかを確認しました。

また、教育関係の諸会議や講演会、研修会に出席し研鑽したほか、各種行事・大会にも積極的に参加しました。（資料…平成24年度教育委員会議以外の活動報告）

今後、地方分権がますます進む中、地方教育行政を担う教育委員会の責任と役割は重要性が非常に高いと考えられ、地域の意向を反映した取組みが期待されます。

2. 学校教育指導関係

教育総務課

ア. 施策分野別の総合点検・評価

教育総務課では21項目の事務事業について点検・評価を行ったところ、有効性・必要性とも概ね高い評価となっています。

学校建設事業では、向陽小学校のグラウンドも完成し、安全安心な環境で学校生活を送られるよう進めてきた改築事業が終了しました。

また、安全な教育環境を維持していくために、年数の経過した小学校の大規模改築の基本調査を実施したほか、小・中学校の施設を修繕し維持管理に努めました。

3小学校を有する車力地区においては、老朽化した校舎の統合について、PTA及

び地域住民と意見交換を実施しました。森田地区及び稲垣地区においても、小学校統合についてPTA及び地域住民と意見交換を行い、稲垣地区では2小学校の統合目標を平成27年度に設定したところです。

今後も学校施設の修繕・改修工事は計画的に整備し、安全確保を図ることにしています。

学校施設整備事業では、国の交付金を活用しながら、コンピュータ等情報教育機器や環境の整備、図書及び教育用備品の充実を図っています。

学校支援事業では、小・中学校に配置しているスクールサポーター（学校教育活動支援員）を16名に増員し、通常学級等に在籍する発達障害のある児童・生徒の支援に努めたほか、就学援助事業、幼稚園就園奨励事業、遠距離通学補助、奨学金貸付事業など、保護者の負担を軽減するための施策を継続して実施しています。

【有効性】

学校建設事業については、向陽小学校のグラウンド工事も完成し、改築事業が終了したことで、安全な環境づくりに成果を挙げているといえます。また、年数の経過した学校の大規模改築の調査などを行い、安全な教育環境の整備に努めております。

学校備品等の整備事業については、国の交付金の活用で必要な予算が確保されたこともあり、教育指導上必要な環境を提供することができ、事業的効果も大であると考えられます。

一方、学校管理事業は、設備の老朽に伴い修繕の要望が多い状況にあり、優先順位をつけて対応していますが、強風や豪雪等により突発的・緊急的な対応を迫られるケースも多くなっており、予算確保に苦慮している状況です。

総体的には、概ね、期待した成果は挙げられたと評価できます。

【必要性】

景気の低迷が続く中、対象者が増加傾向にある就学援助事業、幼稚園就園奨励事業、遠距離通学補助、奨学金貸付事業など、保護者の負担を軽減するためには必要不可欠な事業と考えられます。また、対象児童・生徒が増加傾向にあり、学校現場から拡充を求められています。

スクールサポーターについても、現場の声を聞きながら実態を精査して支援を継続し、特別支援教育の充実を期していくことが求められています。

【方向性】

学校の安全確保へ向けた施設整備や学習環境の整備は、今後も引き続き事業を展開し充実させていく必要があります。

また、学校現場から配置要望の拡充を求められているスクールサポーターについて、実態を精査しながら、発達障害のある児童・生徒への支援を継続し、特別支援教育の充実を期すものです。

イ．その他特に点検、評価すべき事項

インフルエンザについては落ち着きが見られるものの、時期的に若干の罹患が見られるほか、マイコプラズマの感染も出てきているので、これらについては引き続き感染予防に努めて注意していく必要があります。

また、ノロウイルスなどの児童・生徒の罹患は見られないものの、食中毒の予防対策にも引き続いて注意を払う必要があることから、学校保健衛生業務の果たす役割は大きいと考えられます。

指 導 課

ア．施設分野別の総合点検・評価

平成24年度も、指導課では計画訪問 において、「つがる市の学校訪問の方針と重点」について周知徹底を図り、「各学校の学校経営の方針、教育課題解決のための具体的な方策や実践」等について確認を行った。また、新学習指導要領が小学校・中学校とも完全実施となり、その趣旨に沿った教育活動の改善や職員の服務規律の確保についても周知徹底をお願いした。計画訪問 では、「各学校の校内研究の推進」を図るとともに、提案授業や一般授業についてもきめ細かな指導・助言を行った。計画訪問 「各学校の教育課題解決のための実践」等の達成状況についても説明を求めた。さらに要請訪問では、20回ほどの要請回数となった。2回の計画訪問を実施したことで、それぞれのねらいに沿った指導・助言をした。次年度はさらに、「学力向上対策」について、計画訪問 で重点に掲げ説明を求める予定である。

特別支援教育関係では事業充実を図り、相談活動等の支援を強化した。つがる市漢字・計算ドリル、社会科副読本等の事業においては、学校で効果的な活用方法ができるよう計画訪問で指導すると共に、社会科副読本編集会議を実施し、内容の改善を図った。一昨年度から1名減で、各研修会の役割分担も含めて、指導課全体の仕事量も増えてきているので、今後さらに、事業内容の精選を図っていかねばならない。

【有効性】

確かな学力の育成を目指し、指導課では日常の授業の充実を図ってきた。特に、個に応じた学習過程と評価を重視し、授業の工夫の3つの視点（みせる、かかわる、つなぐ）や思考力・判断力・表現力を意識した授業改善が行われるようになってきた。また、つがる市漢字・計算ドリルの活用、学習習慣の確立を重点として取り組んできた。さらなる授業改善等を行い、学校力や教師力を強化していかねばならない。各学校では児童生徒や地域の実態を踏まえ、学校の教育課題を明確にし、教育目標具現化に努め、着実に成果を上げている学校が多い。各校の実態に応じた学校評価の活用や2回の学校訪問が有効に働いている。

特別支援教育・就学相談では、繰り返し相談が必要な事例も増え、「行政・医療・教育」の連携がますます必要になってきている。

標準学力検査や県の学習状況調査、全国学力・学習状況調査では、各学校とその結果を詳細に分析し、自校の実態を的確に把握し、日常の授業改善に取り組んでいる。今後も継続させ、確かな学力の育成につなげていきたい。

「心豊かな人づくり」の面では、学校や家庭、社会が一体になって規範意識を高め、道徳教育の充実を図り、社会体験や体験活動を通して生きる力を育てていくことの大切さを、学校訪問等を通して指導・助言していきたい。そのためには、家庭や地域との信頼関係を築き、地域への愛着や誇りを育んでいくことが肝要である。

【必要性】

危機管理研修会、学級経営研修会、授業改善研修会、教材・教具づくり研修会、特別支援教育説明会、特別支援教育に関わる知能検査研修会、リーダーシップ研修会等、指導課主催のどの研修会も参加者20名以上、参加者の評価も高い。各研修会は、管内の実態や参加者の意見を参考に内容を吟味しており、その年度に必要な研修会も実施している。次年度も学校現場のニーズと実態に応じて、研修会の内容等の見直しも考えていかなければならない。

つがる市漢字・計算ドリルについては、つがる市の重点的事業として、その趣旨を周知するとともに、効果的な活用事例を紹介し、各学校での積極的な活用を図った。

今年度から各校の実態に合わせた様式で学校評価を報告してもらい、各校の自己評価や改善策等具体的な取り組みを把握した。今後も継続が必要な事業である。

【方向性】

標準学力検査については、中学校も3年生をのぞき、目標標準型学力検査(CRT)を実施する方向で指示している。年度内に学力の到達度を検査し、不十分な点を補完していくことによって、学力を保障していく体制づくり等を指導・助言していきたい。ただし、中学校から目標標準型学力検査(CRT)から集団標準型学力検査(NRT)への変更等の要望もあるので、検討していきたい。

学校の教育課題については、全教職員が自校の課題として受け止めていく必要がある。教員評価制度等を活用しながら、管理職がリーダーシップを発揮し、中堅教員の学校経営への参画意識と資質向上を図っていく必要がある。

イ．その他特に点検、評価すべき事項

管内すべての教職員に配布している「学校教育要覧」は、指導課の方針や重点を説明したり、諸事業の内容を提供するのに不可欠のものである。併せて指導課だより(印刷版、メール版)は、指導課の方針やまとめ、最新情報を伝達する手段として効果的である。

3．社会教育行政関係

生涯学習課

ア．施策分野別の総合点検・評価書

平成24年度において、生涯学習課が掲げた社会教育行政の方針と重点の6項目15事業について点検・評価を行ったところ、有効性については、ほぼ達成が多かったが、必要性・方向性についても高い評価となっています。

地域を支える人材育成においては、新たに市読書団体連絡協議会を設立し、活動者のネットワーク化を図った。

一人一人の主体的な学習と社会参加促進においては、NPOつがる野文庫の会と共催し9回の郷土学習事業を開催した。

次代を担う青少年の育成においては、職場見学会を実施しテレビ局を訪問した。

学校・家庭・地域の連携による社会全体の教育力の向上においては、県総合社会教育センターと共催で、絆でつながる家庭教育セミナーを開催した。

社会教育推進のための基盤整備については、社会教育関係団体の活動の支援をおこなった。

【有効性】

ほぼ達成という評価がほぼ大半を占めているが、公民館の拠点館化を目指し、市内全地区をカバーした学習活動を展開したことにより、社会教育施設の充実が図られ、期待どおりの成果があった。

また、各団体において、競技力の向上や活発な活動が図れるよう、体育協会との連携を強化したことにより、生涯スポーツの振興を図るための体制づくりができた。

【必要性】

地域を支え、地域に貢献する人材の育成のための取組として、社会教育関係団体への支援、研修会の開催を継続し、若年層リーダーの研鑽の場が必要である。

さらに、社会教育の一層の推進を図るため、社会教育主事の配置と研修を実施することが必要不可欠である。

また、生涯スポーツの振興を図るための体制づくりとして、体育協会との連携、指導者の確保が必要である。

【方向性】

市教育の基本目標「個性と郷土を大切にする心豊かな人づくり」に向けて、郷土の意識醸成のための施策を関係機関と連動し、展開していかなければならない。

そのためには、地域を支える人材の発掘と育成、次世代を担う青少年の育成に努めていく必要があります。

特に子どもの読書活動は、次世代を担う青少年の感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものであります。西北五つがる読書推進連絡会と連動し、子どもや親に読書への関心を高めるため、読書まつりや読み聞かせサークル活動拡大に努めていきます。

また、蔵書では、児童書・大型絵本の充実を図り、方針に沿った図書館の整備が必要です。

生涯スポーツの振興については、生涯スポーツ社会の実現に向けたスポーツ環境の整備を推進するため、スポーツ推進計画を策定する必要があります。

イ．その他特に点検、評価すべき事項

平成24年度 主な社会教育施設等の改修等

木造中央公民館ブロック塀撤去工事

森田公民館大広間クロス改修

牛潟公民館玄関ポーチタイル改修

生涯学習センター円柱パネル取替工事

森田体育センター排水路整備

森田体育センターボイラー更新

森田体育センター防風ネット設置工事

稲垣総合運動場改修（ソフトボール場バックネット改修）

4．文化財保護行政関係

文化課

ア．施策分野別の総合点検・評価

平成24年度において文化課が掲げた重点4項目11事業について点検・評価を行ったところ、有効性・必要性・方向性とも概ね高い評価となっています。

史跡田小屋野貝塚の内容確認調査を行い、文化財の保護・保存の推進を図った。

また、史跡亀ヶ岡石器時代遺跡の公有地化に取り組み、文化財の整備・活用の推進に寄与した。

さらに伝統芸能の承継では、伝統芸能フェスタを開催し特別出演で森田保育園の園児が、ホーハイ節保存会の指導のもとホーハイ節を披露し、今後、伝統芸能承継への一歩を踏み出すことができた。つがる市にある3資料館において、資料館パンフレット・つがる市ホームページへの掲載の更新を行い、情報発信に努めた。

【有効性】

期待以上・期待どおりの成果が得られたという評価が、ほぼ大半を占めているが、伝統芸能の保存及び後継者の育成においては、ほぼ達成であった。

文化財に関する業務においては、史跡田小屋野貝塚の調査において、人骨が発見されるなど、期待以上の成果を得ることができた。

また、史跡等の整備、有効活用においては、史跡地の公有地に取り組み、今年度の目標を達成できたことは、期待以上の成果があった。

【必要性】

合併以来、毎年開催されている伝統芸能保存フェスタについては、年々盛況であり必要不可欠である。

その他の事務事業についても、必要性が高く、今後も、より一層、事業内容・手法を精査しながら対応し、市の貴重な文化遺産を次世代に確実に残し、郷土に対する愛着と誇りを持ち、潤いのある市民生活を実現するため必要である。

【方向性】

重点項目の全事業において、このまま継続すべき又は拡大すべきという判断であるが、今後も、少しでも作業効率が上がるよう見直しを図りながら、積極的に推進していく必要がある。

イ．その他特に点検・評価すべき事項

史跡等の整備、有効活用について、史跡地の公有地化に取り組んだことは評価すべきであり、今後も積極的に取り組んでいく必要がある。

また、亀ヶ岡石器時代遺跡・田小屋野貝塚、両史跡が世界文化遺産登録に向けた普遍的価値を有することをアピールするためにも、世界遺産登録までに史跡整備計画を策定し、亀ヶ岡石器時代遺跡から出土された遺物の悉皆調査を行い、ガイダンス施設も整備していく必要がある。

施策別重点項目事務事業一覧

施策分野			
重点項目		事務事業	評価担当課
教育委員会組織			
(1)教育委員会の活動	1	教育委員会会議の開催	教育総務課
	2	教育委員会事務局との連携	教育総務課
	3	教育委員の自己研鑽	教育総務課
	4	教育委員の学校訪問	教育総務課
学校教育指導の方針と重点			
(1)授業の充実	5	学校管理事業	教育総務課
	6	学校施設整備事業	教育総務課
	7	学校教育振興事業	教育総務課
	8	学校用図書備品整備事業	教育総務課
	9	コンピューター等機器整備事業	教育総務課
	10	スクールサポーター等による学校支援事業	教育総務課
	11	学校評議員配置活用事業	教育総務課
	12	就学援助費事業	教育総務課
	13	幼稚園就園奨励費事業	教育総務課
	14	遠距離通学費補助事業	教育総務課
	15	奨学資金借入金利子補給費補助事業	教育総務課
	16	学級編成及び就学事務事業	教育総務課
	17	教育課程の編成、実施指導事務	指導課
	18	学校訪問(計画、要請)実施事業	指導課
	19	教育課程記載要領説明会・研修会	指導課
	20	学力向上対策事業	指導課
	21	漢字・計算ドリル事業	指導課
(2)体育、健康教育の充実	22	学校保健及び学校環境衛生事業	教育総務課
	23	児童生徒及び教職員健康管理事業	教育総務課
	24	日本スポーツ振興センター事業	教育総務課
	25	スポーツ奨励費補助事業	教育総務課
	26	学校給食運営事業	教育総務課
(3)生徒指導の充実	27	教育相談員派遣事業	指導課
	28	スクールカウンセラー派遣事業	指導課
	29	いじめ・不登校等問題対策委員会事業	指導課
	30	つがる市生活指導協議会事業	指導課
(4)特別支援教育の充実	31	特別支援教育相談事業	指導課
	32	就学指導委員会事業	指導課
(5)国際化に対応する教育の推進	33	A L T派遣活用事業	指導課
	34	小学校外国語活動人材派遣事業	指導課
(6)研修の充実	35	特別支援教育説明会	指導課
	36	特別支援教育研修会	指導課

施策分野			
	重点項目	事務事業	評価担当課
	(6) 研修の充実	37 特別支援教育に関わる知能検査研修会	指導課
		38 社会科副読本編集会議	指導課
		39 危機管理研修会	指導課
		40 学級経営研修会	指導課
		41 授業改善研修会	指導課
		42 教材教具づくり研修会	指導課
		43 つがる市教育研究会事業	指導課
		44 つがる市学校評価システム事業	指導課
		45 リーダーシップ研修会	指導課
		46 初任者ふるさと研修	指導課
社会教育行政の方針と重点			
(1) 地域を支える人材の育成	47 地域を支え、地域に貢献する人材の育成	生涯学習課	
(2) 一人一人の主体的な学習と社会参加の促進	48 多様な学習活動の支援	生涯学習課	
	49 学習成果を生かした社会参加活動の支援	生涯学習課	
(3) 次代を担う青少年の育成	50 青少年のキャリア教育・体験活動の充実	生涯学習課	
	51 子どもの読書活動の充実	生涯学習課	
(4) 学校・家庭・地域の連携による社会全体の教育力の向上	52 学校と地域の協働による教育活動の充実	生涯学習課	
	53 家庭教育支援の充実	生涯学習課	
	54 地域全体で子どもを育むための仕組みづくり	生涯学習課	
(5) 社会教育推進のための基盤整備	55 社会教育委員の自己研鑽	生涯学習課	
	56 社会教育施設の機能の充実と活用の促進	生涯学習課	
	57 社会教育関係職員の養成と資質の向上	生涯学習課	
	58 社会教育関係団体等の活動の支援	生涯学習課	
(6) 生涯スポーツの振興	59 スポーツに関わる人材の育成・活用	生涯学習課	
	60 総合型地域スポーツクラブの育成・支援	生涯学習課	
	61 スポーツ施設の効果的な活用	生涯学習課	
文化財保護行政の方針と重点			
(1) 文化財の保護・保存	62 遺跡の埋蔵文化財の発掘調査	文化課	
	63 史跡保存管理の周知	文化課	
	64 世界遺産登録に向けての取組	文化課	
	65 古木の保護管理	文化課	
(2) 文化財の整備・活用	66 史跡等の整備、有効活用	文化課	
	67 文化財等の情報発信	文化課	
(3) 伝統芸能の継承	68 伝統芸能の保存及び後継者の育成	文化課	
	69 伝統芸能保存フェスタの開催	文化課	
	70 伝統芸能の映像の記録	文化課	
(4) 資料館の充実	71 展示物の充実	文化課	
	72 資料館についての情報発信	文化課	

平成 2 4 年度 教育委員会 事務事業点検 ・ 評価表			有効性 ・・・・ 1 = 未達成 2 = 期待以下 3 = ほぼ達成 4 = 期待どおり 5 = 期待以上				
			必要性 ・・・・ 1 = 低い 2 = やや低い 3 = 普通 4 = やや高い 5 = 高い				
			方向性 ・・・・ 1 = 廃止・休止 2 = 縮小 3 = 整理統合 4 = 継続 5 = 拡大				
NO	事 務 事 業 名	主 管 課	有 効 性	必 要 性	方 向 性	総 合 点 検 ・ 評 価	
1	教育委員会会議の開催	教育総務課	4	5	4	毎月 1 回の定例会を実施し、必要に応じ臨時会を開催した。審議議案等も適宜追加提案を行い、緊急を要する案件にも迅速に対応した。	
2	教育委員会事務局との連携	教育総務課	4	5	4	教育委員会及び各課との情報を共有することによって、連携を密にすることができ、概ね順調であった。	
3	教育委員の自己研鑽	教育総務課	5	4	4	市町村教育委員会委員研修会、西つがる教育委員会連絡協議会研修会に参加の他、市教委研修会（秋田県、大湯環状列石、伊勢堂岱遺跡他）も実施し、有意義な活動を行った。	
4	教育委員の学校訪問	教育総務課	4	4	4	園長、校長から経営方針、教頭から運営の実績を聞いて、市教委が示した重点、方針に基づいた学校運営がなされていることが確認できた。	
5	学校管理事業	教育総務課	4	4	5	依然として厳しい予算で対応しているが、各学校からの修繕要望については緊急性の高いものから重点的に整備し対応した。	
6	学校施設整備事業	教育総務課	4	5	4	2 2 年度から 2 3 年度にかけ向陽小学校の校舎及び体育館が完成し、2 4 年度にグラウンド整備が完了し、改築事業が終了した。また、森田地区、稲垣地区、車力地区の「つがる市小・中学校規模適正化基本計画」の決定を受け、3 地区で説明会等を実施し意見交換を実施できた。	
7	学校教育振興事業	教育総務課	4	4	5	厳しい予算の中、学校教育の教育環境整備のため教材備品、コンピュータの整備、就学支援の必要な児童・生徒に対し学校経費の一部助成を実施した。就学支援を必要とする児童・生徒が依然として増加傾向にあることから、事業の拡大が必要と思われる。	
8	学校用図書備品整備事業	教育総務課	3	4	4	図書整備費を各学校に配分し購入を進めているが、整備状況にばらつきが見られるため、配分割合を考慮しながら継続的に整備に努める必要がある。	
9	コンピューター等機器整備事業	教育総務課	4	5	4	平成 2 2 ～ 2 5 年度までの計画で再編交付金事業を活用し、児童生徒が情報化に対応した教育ができるよう小・中学校コンピュータ教室のパソコン機器等を整備。2 4 年度は穂波小学校を整備し、2 5 年度には向陽小学校、瑞穂小学校を整備して事業が完了する。	

平成 2 4 年度 教育委員会 事務事業点検 ・ 評価表			有効性 …… 1 = 未達成 2 = 期待以下 3 = ほぼ達成 4 = 期待どおり 5 = 期待以上				
			必要性 …… 1 = 低い 2 = やや低い 3 = 普通 4 = やや高い 5 = 高い				
			方向性 …… 1 = 廃止・休止 2 = 縮小 3 = 整理統合 4 = 継続 5 = 拡大				
NO	事 務 事 業 名	主 管 課	有 効 性	必 要 性	方 向 性	総 合 点 検 ・ 評 価	
10	スクールサポーター等による学校支援事業	教育総務課	3	4	5	特別支援を要する児童・生徒指導の補助員として配置しているが、昨年度より3名増員となり16名体制となった。教員及び学校の負担軽減に効果が上がっているが、特別支援を要する児童・生徒は依然として増加傾向にあることから、更なる増員が必要である。	
11	学校評議員配置活用事業	教育総務課	3	4	4	学校運営に有識者の意見を取り入れ、地域と連携を強めた結果、理解と協力を得ることができ、学校教育目標達成に寄与することができた。また、開かれた学校づくりを推進していくためにも有効である。	
12	就学援助費事業	教育総務課	3	4	4	経済的理由により、就学困難な児童生徒の保護者に対して就学に要する費用を援助するものであり、現在では管内児童生徒数全体の約5分の1以上に支給している状況で、今後も必要不可欠である。	
13	幼稚園就園奨励費事業	教育総務課	4	5	4	幼稚園を利用する保護者の経済的負担を軽減するとともに、就学前にある児童の幼児教育の振興が図られる。	
14	遠距離通学費補助事業	教育総務課	4	5	4	遠距離通学児童・生徒の通学条件の緩和を図るため、市が行う通学バス費補助を受けることにより、義務教育の円滑な実施と財政負担の軽減が図られた。	
15	奨学資金借入金利子補給費補助事業	教育総務課	5	5	4	経済的理由で金融機関から奨学資金を借入れした市内在住の世帯に対し借入金の利子補給を行い、有為な人材育成の養成に寄与することができ、必要性の高いことから拡大の必要があると思われる。	
16	学級編成及び就学事務事業	教育総務課	4	5	4	学級編制基準に基づき協議の上、適切に実施している。校区外通学では、児童生徒の具体的な事情に即して相当と認めるときは、保護者の意向に十分配慮し、「就学校変更に係る許可基準」に基づき行うことができた。	
17	教育課程の編成、実施指導事務	指導課	4	5	4	新学習指導要領が完全実施になり、届出書の点検指導は念入りに実施した。次年度の教育課程編成に関する留意点等を、学校訪問や指導課だよりで知らせることにより、有効性を高めることができた。	
18	学校訪問（計画、要請）実施事業	指導課	4	5	4	教育課程の編成実施において、年2回の計画訪問により、きめ細かな指導ができた。特に、「授業の充実」では、授業の工夫の3つの視点を示すとともに、校内研究の成果を他の教科の授業改善に生かすよう指導・助言に努めた。今後は要請訪問についても充実させていきたい。	

平成24年度 教育委員会 事務事業点検・評価表			有効性・・・ 1=未達成 2=期待以下 3=ほぼ達成 4=期待どおり 5=期待以上				
			必要性・・・ 1=低い 2=やや低い 3=普通 4=やや高い 5=高い				
			方向性・・・ 1=廃止・休止 2=縮小 3=整理統合 4=継続 5=拡大				
NO	事務事業名	主管課	有効性	必要性	方向性	総合点検・評価	
19	教育課程記載要領説明会・研修会	指導課	4	5	4	これは、平成23年度まで西北教育事務所主催の事業であったものである。ところが、諸般の事情から中止されたため、各校から再開の要望が持ち上がっていた。このため、五所川原市とつがる市教育委員会共催で実施することとしたが、参加者からは大変効果的であるという評価をいただいている。	
20	学力向上対策事業	指導課	4	5	4	標準学力検査及び県の学習状況調査では、各学校ともその結果を詳細に分析し、日常の授業改善に取り組みが充実し、市全体でも県平均を上回った。今後は、思考力・判断力・表現力等の活用する力を伸ばしていくことと、学習習慣の定着や学習意欲の向上を図っていく必要がある。	
21	漢字・計算ドリル事業	指導課	4	4	4	各校の実践発表を聞いたり、実態に応じた活用方法について協議することによって、さらに活用していこうという気運が高まった。つがる市管内の小中学校が目的を共通理解して活用し、小中連携した学習指導を進めるために、今後とも必要な事業である。	
22	学校保健及び学校環境衛生事業	教育総務課	5	5	4	学校保健・学校環境衛生を保つため、各種検査を円滑に実施し、学習環境の衛生管理に努めた。また「学校環境衛生基準」に基づき、日常の環境衛生管理を適正に行うことで、安全な学習環境を維持し、児童生徒等を疾病、事故から守るとともに清潔で快適な学校生活が送れた。	
23	児童生徒及び教職員健康管理事業	教育総務課	5	5	4	学校保健安全法に基づいたものであり、児童生徒・教職員の健康診断の実施と事後措置を行うことにより、健康状態を把握し疾病等の早期発見・早期治療を勧め、健康管理と健康保持増進を図った。検診での早期発見により児童生徒・教職員の健康保持のため、引き続き事業の継続を図る。	
24	日本スポーツ振興センター事業	教育総務課	5	5	4	学校管理下で発生した児童生徒の災害について保障されることで、保護者の医療費負担を軽減することができ、全児童生徒が加入することにより安心な生活環境が守られ、学校管理下での安全体制の確保に結びついている。また、保護者口座に市から直接、振込みになったことで学校事務の軽減に繋がった。	
25	スポーツ奨励費補助事業	教育総務課	4	5	4	市内中学校の中体連大会等県大会以上進出校に対し経費助成を行い、保護者負担の軽減を図り、中学校スポーツ振興の一助とした。	

平成 2 4 年度 教育委員会 事務事業点検 ・ 評価表			有効性 …… 1 = 未達成 2 = 期待以下 3 = ほぼ達成 4 = 期待どおり 5 = 期待以上				
			必要性 …… 1 = 低い 2 = やや低い 3 = 普通 4 = やや高い 5 = 高い				
			方向性 …… 1 = 廃止・休止 2 = 縮小 3 = 整理統合 4 = 継続 5 = 拡大				
NO	事 務 事 業 名	主 管 課	有 効 性	必 要 性	方 向 性	総 合 点 検 ・ 評 価	
26	学校給食運営事業	教育総務課	5	5	4	発達段階に応じた栄養バランスのとれた安心・安全な給食の提供を受けることにより、児童生徒の健康保持、体位向上の増進を図っている。また、望ましい食習慣を養い、給食を通じた食に関する指導の実施や地場産物の活用を高めるなど、学校における食育の増進を図ることが出来た。	
27	教育相談員派遣事業	指導課	4	4	4	県のスクールカウンセラーが配置されていない中学校に派遣され、生徒の生活面、学習面等、多岐にわたって相談活動を行っている。不登校生徒の家庭訪問を行うなど、必要性が高い。	
28	スクールカウンセラー派遣事業	指導課	4	4	4	いじめや不登校等、児童生徒に関わる生徒指導上の問題はますます多様化し、学校単独では解決困難な事例も多くなっている。学校をサポートしていくためにも重要な事業である。	
29	いじめ・不登校等問題対策委員会事業	指導課	4	4	4	児童生徒のいじめ、不登校等の問題解決のため、対策委員会での情報交換および学校や関係諸機関のネットワークをつくり、現状についての協議や緊急時における対応策の検討の場として必要である。	
30	つがる市生活指導協議会事業	指導課	4	4	4	つがる市管内における児童生徒の健全育成のために、各種団体が協力し事業を行っている。特に問題行動についての情報交換等で成果をあげている。携帯電話等、新しい問題が日々発生している状況であり、各種団体のネットワーク構築に役立っている。	
31	特別支援教育相談事業	指導課	4	5	4	個別の特別な支援を必要とする幼児児童生徒の増加に伴い、相談者のニーズも多様化している。これに対し、専門性の高い相談員が適切なアドバイスを与えている。また、幼稚園・保育所を訪問しての就学相談は、就学指導を円滑に進める上で役立っている。	
32	就学指導委員会事業	指導課	4	5	4	特別な支援を必要としている幼児・児童・生徒は増加傾向にある。そのため、教育・行政・医療関係が連携して、適正な就学指導を行っていくことは大事な業務である。	
33	A L T 派遣活用事業	指導課	4	5	4	児童生徒に生きた英語に接する機会を提供し、英語に対する興味・関心を深め、コミュニケーション能力を高めていくためにも欠かせない事業である。	

平成 2 4 年度 教育委員会 事務事業点検 ・ 評価表			有効性 ・・・・ 1＝未達成 2＝期待以下 3＝ほぼ達成 4＝期待どおり 5＝期待以上				
			必要性 ・・・・ 1＝低い 2＝やや低い 3＝普通 4＝やや高い 5＝高い				
			方向性 ・・・・ 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝整理統合 4＝継続 5＝拡大				
NO	事 務 事 業 名	主 管 課	有 効 性	必 要 性	方 向 性	総 合 点 検 ・ 評 価	
34	小学校外国語活動人材派遣事業	指導課	4	5	4	小学校の外国語活動が導入される移行期である。児童生徒への英語への興味・関心を深め、国際理解教育を推進し、A L T が派遣できない日にネイティブ・スピーカーの代わりを務めたり、学級担任の指導計画や教材づくりをサポートするなど、必要性は高い事業である。	
35	特別支援教育説明会	指導課	4	4	4	特別支援教育や障害のある幼児児童生徒に関する市の取り組みやネットワークについて、幼稚園・保育所職員及び小・中学校教員の理解を深めることができた。開催時期等を考慮し、平成 2 5 年度からは特別支援教育研修会に統合して実施する。	
36	特別支援教育研修会	指導課	4	4	4	増加、多様化する特別支援教育の対象となる児童生徒の指導・支援に学校・保育所・幼稚園を苦慮している状況下、教員・職員が発達障害や特別支援教育に関する知識、指導方法に関する見識を深める研修は有意義であり、今後とも必要である。	
37	特別支援教育に関わる知能検査研修会	指導課	4	4	4	就学指導委員会の専門検査で実施する知能検査について、実践を通して研修を深めることができた。また専門部委員だけでなく、幼稚園・保育所職員の参加もみられ、特別支援教育の推進のためには、今後とも必要な事業である。	
38	社会科副読本編集会議	指導課	4	4	-	社会科副読本「わたしたちのつがる市」の改訂作業が終了し、5 年分の副読本が完成した。よって、次の改訂作業に取りかかるまで編集会議は不要である。	
39	危機管理研修会	指導課	4	4	4	ネットいじめや不審者への対応についての講習等、児童生徒が安心して学校生活が送れるよう、予防や適切な対応について理解を深めていく講習会を行った。現在、非常に問題になっていることであり、大変有意義であった。	
40	学級経営研修会	指導課	4	4	4	よりよい学級づくりのため、Q - U、S S T、S G E 等の活用、学級集団に応じた授業の構成と展開の仕方についての研修会を行っている。日常の授業実践、学級経営に対する教師の力量と資質の向上が図られ、有意義であった。	

平成 2 4 年度 教育委員会 事務事業点検 ・ 評価表			有効性 …… 1 = 未達成 2 = 期待以下 3 = ほぼ達成 4 = 期待どおり 5 = 期待以上				
			必要性 …… 1 = 低い 2 = やや低い 3 = 普通 4 = やや高い 5 = 高い				
			方向性 …… 1 = 廃止・休止 2 = 縮小 3 = 整理統合 4 = 継続 5 = 拡大				
NO	事 務 事 業 名	主 管 課	有 効 性	必 要 性	方 向 性	総 合 点 検 ・ 評 価	
41	授業改善研修会	指導課	4	4	4	学力向上のため外部講師を招き、今年度は理科の学習指導に関する研修会を実施。大学教授の講義、弘大附属小・中学校教員による模擬授業は、教員の専門性、授業力の向上に有効であった。	
42	教材教具づくり研修会	指導課	5	5	4	ＩＴＣを活用した教材づくりに関する研修会であった。フラッシュ型の教材であり、教科を選ばず活用できることと、インターネットのサイトから各種の教材をダウンロードできるため、参加者も興味深く取り組んでいた。２学期以降活用したいとの声が多く寄せられた。	
43	つがる市教育研究会事業	指導課	4	4	4	市内教職員が会員となって、５中学校での学区研や教育講演会を開くなど、学習指導や生徒指導等、教職員の専門性と資質向上のために役だった。今後も継続が必要な事業である。	
44	つがる市学校評価システム事業	指導課	4	4	4	管内の各学校が自校の教育活動や学校運営について、組織的・継続的な改善及び信頼される開かれた学校づくりに資するとともに、教育委員会が学校に必要な支援を講ずるためにも必要な事業である。今年度各学校の様式により提出された。次年度も同様の方向性で実施したい。	
45	リーダーシップ研修会	指導課	4	4	3	学校運営の在り方についての研修を通して、学校経営の参画意識と資質向上を図るために設けた研修会である。各校のミドルリーダー育成の観点からも、名称等を変更して校内研修充実のための支援事業に移行していく予定である。	
46	初任者ふるさと研修	指導課	4	5	4	初任者研修の一貫として行われる「ふるさとの教育研修」として、つがる市の教育と地域について理解を深め、教員としての資質向上を図る研修会である。	
47	地域を支え、地域に貢献する人材の育成	生涯学習課	3	5	5	地域に貢献する人材育成のための取り組みとして、既存の社会教育関係団体（婦人会、ＰＴＡ、子ども会等）への支援、研修会の開催を継続し、若年層リーダーの研鑽の場としている。２４年度は新たに市読書団体連絡協議会を設立し、活動者のネットワーク化を図った。また、公民館では、地域に直結した課題解決と組織育成のため森田地区絆づくり推進事業実行委員会が防災関連事業を手掛ける等、効果的事業展開が図られている。	

平成 2 4 年度 教育委員会 事務事業点検 ・ 評価表			有効性 ・・・・ 1 = 未達成 2 = 期待以下 3 = ほぼ達成 4 = 期待どおり 5 = 期待以上				
			必要性 ・・・・ 1 = 低い 2 = やや低い 3 = 普通 4 = やや高い 5 = 高い				
			方向性 ・・・・ 1 = 廃止・休止 2 = 縮小 3 = 整理統合 4 = 継続 5 = 拡大				
NO	事 務 事 業 名	主 管 課	有 効 性	必 要 性	方 向 性	総 合 点 検 ・ 評 価	
48	多様な学習活動の支援	生涯学習課	4	4	4	市民の学習活動を拡充多様化させるためには、行政だけでなく民間活力との連携が必要である。24年度はNPOつがる野文庫の会と共催し9回の郷土学習事業を開催している。高齢者向けの学習機会として、つがる市長寿大学、稲垣公民館稲車こころ塾が継続開催している。さらに、より専門的学習として弘前大学公開講座を開催し、幅広い学習ニーズに対応している。	
49	学習成果を生かした社会参加活動の支援	生涯学習課	3	3	4	年に一度のつがる市総合文化祭は、市民の学習成果の集大成として盛大に行われている。24年度は4日間49団体が参加。松の館展示ギャラリーの利用は年間7件、小中学校・高校の活動展示等、更にその拡充に努める。そのほか、個別の団体による活動では、中学校での学習支援、老人福祉施設への定期的慰問、教室の開催といった、それぞれの技術を生かした社会参加活動が行われている。	
50	青少年のキャリア教育・体験活動の充実	生涯学習課	3	4	4	市教育の基本目標「個性と郷土を大切に作る心豊かな人づくり」に向けて、郷土の意識醸成のための施策を関係機関と連携し展開する。24年度から発足した県教育支援プラットフォーム事業西北協議会には市社会教育委員3名が参画し、小中学校と民間企業とのパイプ役を果たしている。同時に職場見学会を実施し、24年度はテレビ局訪問に児童27名が参加。各公民館では、星空観察会、公民館くらぶ等、特色ある事業を展開している。	
51	子どもの読書活動の充実	生涯学習課	3	5	5	西北五つがる読書推進連絡会と連動した研修会のほか、子どもや親に読書への関心を高めるため、市単独でつがる市読書まつり（読み聞かせ、昔話、ブックコーティング、手作りおもちゃづくり等）を開催、併せて読み聞かせサークルの活動拡大に努めた。蔵書では、児童書、大型絵本も充実してきており、方針に沿った整備がなされている。	
52	学校と地域の協働による教育活動の充実	生涯学習課	3	3	4	学校と密接な地域住民であるPTAの資質向上を図るため、母親委員会と共催し、生きる力を育む講座を開催するなど支援と助言を行ってきた。また、地域住民を巻き込んだ事業として、公開科学実験教室、音楽隊演奏会を定期的で開催している。	

平成 2 4 年度 教育委員会 事務事業点検 ・ 評価表			有効性 …… 1 = 未達成 2 = 期待以下 3 = ほぼ達成 4 = 期待どおり 5 = 期待以上				
			必要性 …… 1 = 低い 2 = やや低い 3 = 普通 4 = やや高い 5 = 高い				
			方向性 …… 1 = 廃止・休止 2 = 縮小 3 = 整理統合 4 = 継続 5 = 拡大				
NO	事 務 事 業 名	主 管 課	有 効 性	必 要 性	方 向 性	総 合 点 検 ・ 評 価	
53	家庭教育支援の充実	生涯学習課	3	4	4	家庭教育支援を充実するためには、支援者の育成が必要との観点から、県総合社会教育センターと共催で絆でつながる家庭教育セミナーを開講、全 8 回開催し 5 名が修了しており、キーパーソンとしての活動が期待される。木のおもちゃ講習会には乳幼児を持つ若い父母が参加し、親業への動機づけが図られた。	
54	地域全体で子どもを育むための仕組みづくり	生涯学習課	3	4	4	放課後児童の安全対策と保護者の就労支援を目的に、教育委員会では「子ども教室」、福祉部局では「児童クラブ」を、市内全小学校区に設置。地域住民の参画を得ながら、「放課後子どもプラン運営委員会」を設置し、子ども達にとって安全安心な居場所を整えている。	
55	社会教育委員の自己研鑽	生涯学習課	3	5	4	西北地区社会教育委員研修会、社会教育振興大会、社会教育関係職員研修講座に参加。東北地区社会教育委員研究大会では分科会担当を務めるなど、意欲的な参加がされた。そのほか、委員個々による公民館事業、社会教育事業へ講師やアドバイザーとして参加、協力体制が構築されている。	
56	社会教育施設の機能の充実と活用の促進	生涯学習課	4	4	4	公民館の拠点館化を目指し、20年度より市内全地区をカバーした学習活動が展開されている。老朽化した施設については改修による安全対策を講じている。今後、維持費の拡大が予想され、指定管理者制度導入や一部廃止も含めた検討が必要とされる。	
57	社会教育関係職員の養成と資質の向上	生涯学習課	3	5	5	社会教育の一層の推進を図るため、社会教育主事の配置と県内外での研修を実施してきた。さらには、関係職員全体のスキルアップを図るとともに、今後、計画的に社会教育主事の養成が望まれる。	
58	社会教育関係団体等の活動の支援	生涯学習課	3	4	4	市民団体の学習活動、スポーツ活動を活性化し、組織として継続的かつ自主的な運営を促進させている。活動の場は主に公民館、体育館であるが、社会教育関係団体として登録することで市民とのマッチング、指導者の発掘に貢献できている。24年度認定団体数は、文系 62 団体 2,195 名、スポーツ系 40 団体 2,664 名である。	

平成 2 4 年度 教育委員会 事務事業点検 ・ 評価表			有効性 ・・・・ 1 = 未達成 2 = 期待以下 3 = ほぼ達成 4 = 期待どおり 5 = 期待以上				
			必要性 ・・・・ 1 = 低い 2 = やや低い 3 = 普通 4 = やや高い 5 = 高い				
			方向性 ・・・・ 1 = 廃止・休止 2 = 縮小 3 = 整理統合 4 = 継続 5 = 拡大				
NO	事 務 事 業 名	主 管 課	有 効 性	必 要 性	方 向 性	総 合 点 検 ・ 評 価	
59	スポーツに関わる人材の育成・活用	生涯学習課	5	5	5	生涯スポーツの振興（軽スポーツ・競技スポーツ）を図るための体制づくりの一つとして、体育協会が平成 2 0 年 1 1 月に N P O 法人として設立したが、競技力向上のため、専門職員（指導者）の確保が求められる。毎年市民スポーツ大会の開催においては各種競技団体との連携をとり、また、県補助を受けて学校への指導者派遣への活用に取り組んできた。各団体において、競技力の向上や活発な活動が図られるよう、体育協会との連携を強化していく。選手派遣補助金を活用し、県大会以上の大会出場にかかる参加者負担の軽減を図っている。	
60	総合型地域スポーツクラブの育成・支援	生涯学習課	5	5	5	総合型地域スポーツクラブとして、稲垣公民館の支援のもと、いながきスポーツクラブが自主活動している。 また、T O T O スポーツ振興くじ助成事業を受け、車力楽笑スポーツクラブ（H 2 2 . 3 車力地区）が設立された。 今後の活動の拡充、他地区への普及効果を図るため、その活動を支えていく。	
61	スポーツ施設の効果的な活用	生涯学習課	3	3	4	生涯スポーツの振興（軽スポーツ・競技スポーツ）を図るための体制づくりの一つとして、体育協会を平成 2 0 年 1 1 月、N P O 法人設立し、スポーツ振興事業として補助事業を積極的に取り入れる等、施設の活用にも取り組んでいる。 また、スポーツの拠点施設である稲垣体育館に体育協会を指定管理者としているが、体育施設の効果的な活用を図るため、今後も随時指定管理者制度を導入していく。	
62	遺跡の埋蔵文化財の発掘調査	文化課	5	5	5	田小屋野貝塚の調査で遺跡の遺存状況を確認し、世界遺産登録推進に活用できるデータが得られた。調査結果は、文化庁、県教育委員会の高い評価を得ている。また、調査結果を各種講演会や世界遺産関連会議にて発表し、情報公開も図れた。	
63	史跡保存管理の周知	文化課	5	5	4	田小屋野貝塚調査により、史跡における調査や史跡保存管理の必要性を周知できた。	

平成 2 4 年度 教育委員会 事務事業点検 ・ 評価表			有効性 …… 1 = 未達成 2 = 期待以下 3 = ほぼ達成 4 = 期待どおり 5 = 期待以上				
			必要性 …… 1 = 低い 2 = やや低い 3 = 普通 4 = やや高い 5 = 高い				
			方向性 …… 1 = 廃止・休止 2 = 縮小 3 = 整理統合 4 = 継続 5 = 拡大				
NO	事 務 事 業 名	主 管 課	有 効 性	必 要 性	方 向 性	総 合 点 検 ・ 評 価	
64	世界遺産登録に向けての取組	文化課	5	5	4	世界遺産専門家委員会において亀ヶ岡遺跡・田小屋野貝塚の専門的説明を行い、また専門家委員会委員長・委員に現地説明して、両史跡が世界文化遺産登録に向けた普遍的価値を有することをアピールできた。また、N P O に委託して市民向け講演会・現地見学・体験学習などを実施して、世界文化遺産登録推進活動に供し、多くの参加者・理解者を得ることができた。	
65	古木の保護管理	文化課	3	5	4	年間を通じた業務委託により保護保全管理に努めていると同時に、適時現地確認を行い現状把握に努めている。	
66	史跡等の整備、有効活用	文化課	5	5	5	史跡亀ヶ岡石器時代遺跡用地買上事業で、史跡地全体を実測測量し、平成 2 4 年度から史跡地を買上、平成 2 8 年度までに事業を完了し、公有地化して史跡の保存管理に努める。	
67	文化財等の情報発信	文化課	5	5	4	各種説明会・講演会、世界遺産登録推進事業などへの積極的な協力により、史跡や世界遺産を中心とした情報発信に大きな効果があった。	
68	伝統芸能の保存及び後継者の育成	文化課	3	5	4	後継者育成の取り組みが今後も課題となっていくことから、学校訪問事業等を継続し、育成推進を図る必要がある。	
69	伝統芸能保存フェスタの開催	文化課	4	5	4	伝統芸能保存協会主催のフェスタを継続して開催し、約 3 0 0 名の観客が参観した。フェスタの開催は、今後の継続的な伝統芸能の保存・継承活動及び地域社会の文化の向上に帰するものである。	
70	伝統芸能の映像の記録	文化課	4	5	4	各地域の失われつつあり、かつ、記録に残されていない伝統芸能を映像に記録・保存することで、永く後代の遺産となるものである。	
71	展示物の充実	文化課	5	5	4	カルコや木造亀ヶ岡考古資料館に県立郷土館から借用した新たな資料を展示し、展示の充実に努めた。また、事前連絡があった場合には、担当学芸員が展示物の解説を行い、展示物の説明、意味づけの充実に努めた。	
72	資料館についての情報発信	文化課	5	5	4	資料館パンフレット・つがる市ホームページへの掲載の更新を行うとともに、世界遺産 4 道県共通パンフレットを活用することにより、情報発信に努めた。また、担当学芸員による展示物解説により、詳細な情報発信に大きな効果があった。	